

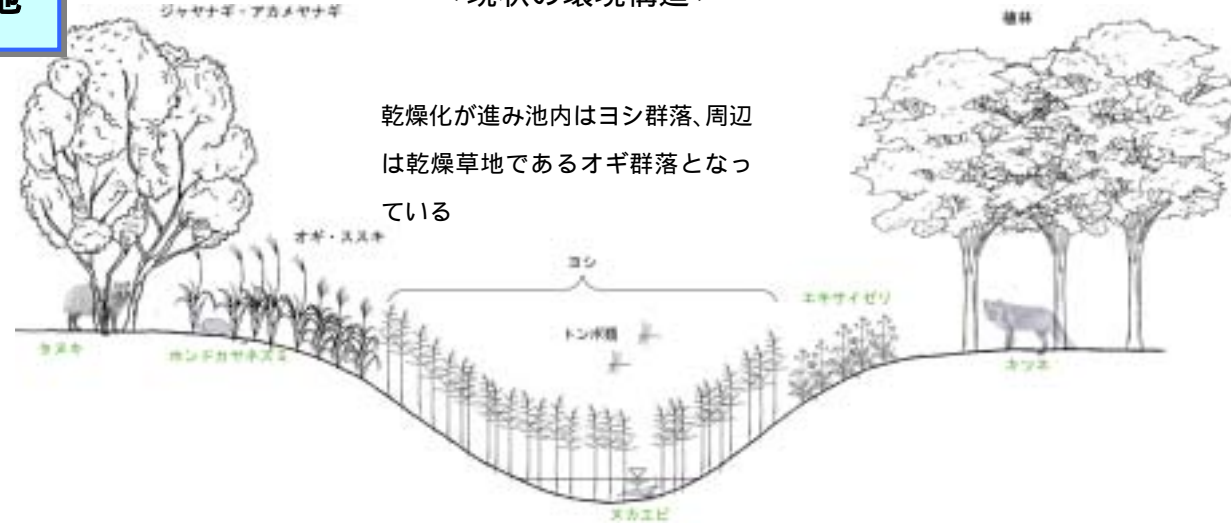
< 整備による保全・再生で期待できる湿地環境のイメージ >

整備後に期待できる環境構造を各池毎に以下に現状と比較し、イメージを示した。

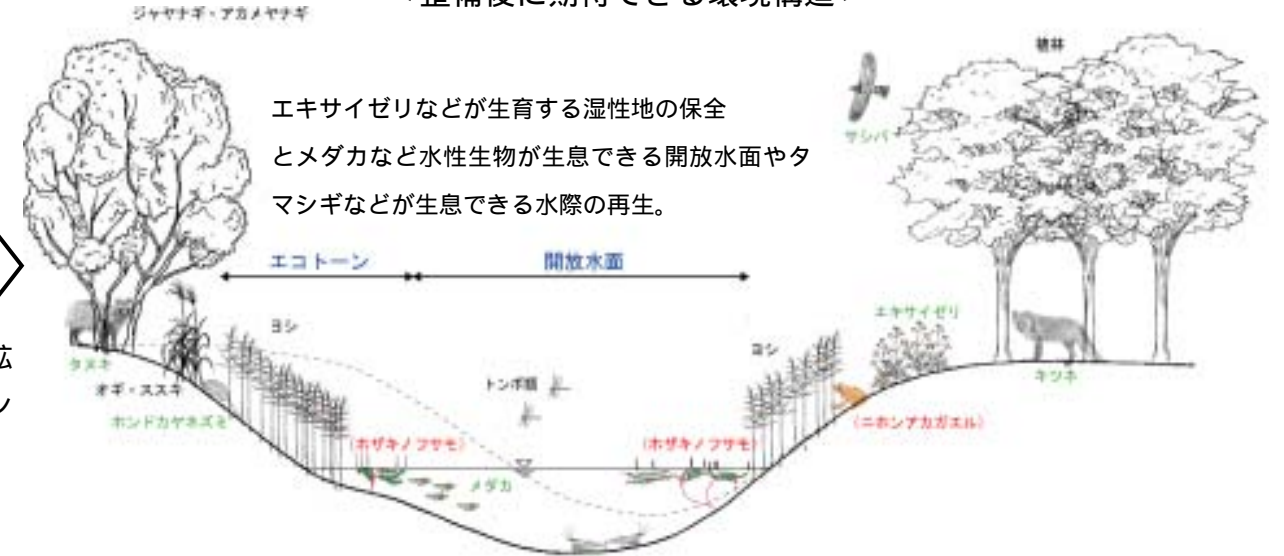
種名の色は、普通種 黒
 の目標の希少種 緑
 の目標の希少種 赤
 注) () は当該地で絶滅している場合は移植等が必要な種

上池

< 現状の環境構造 >



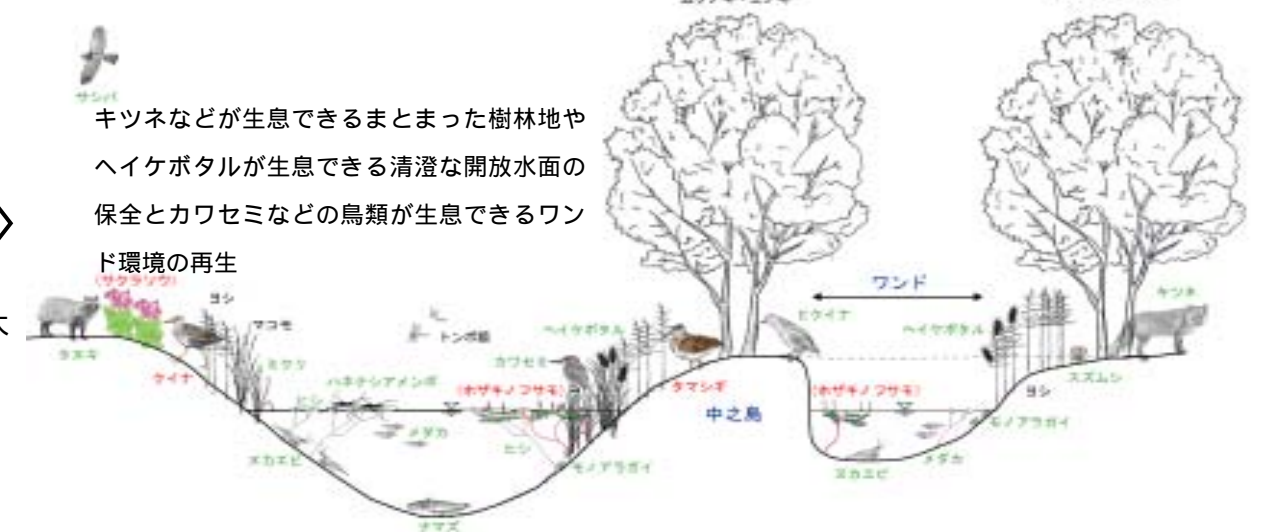
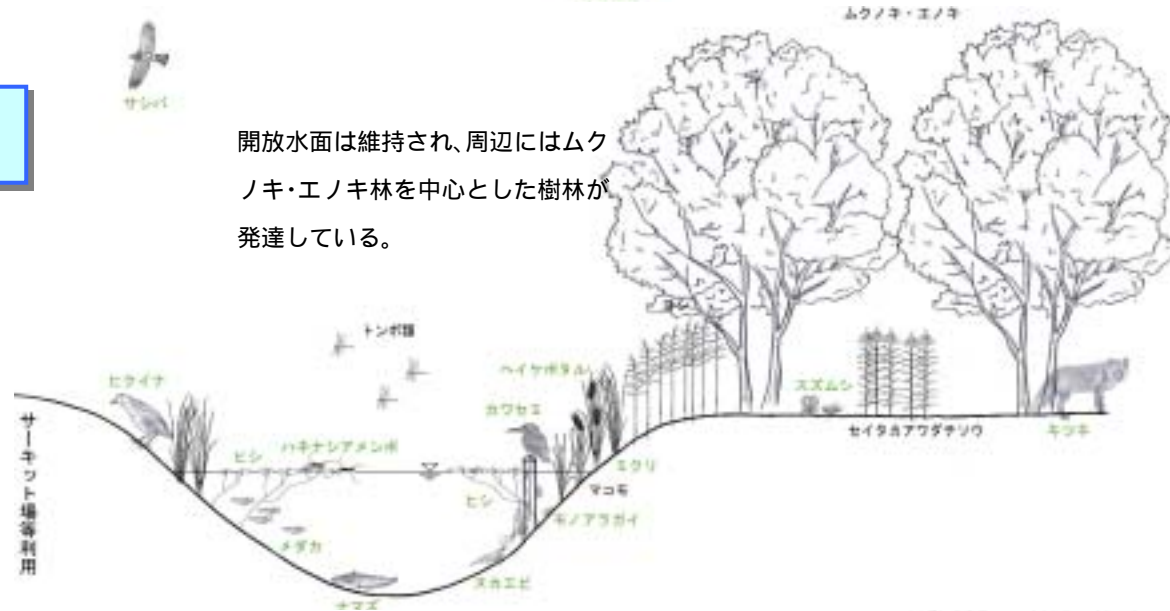
< 整備後に期待できる環境構造 >



・開放水面の拡大とエコトーン化

中池

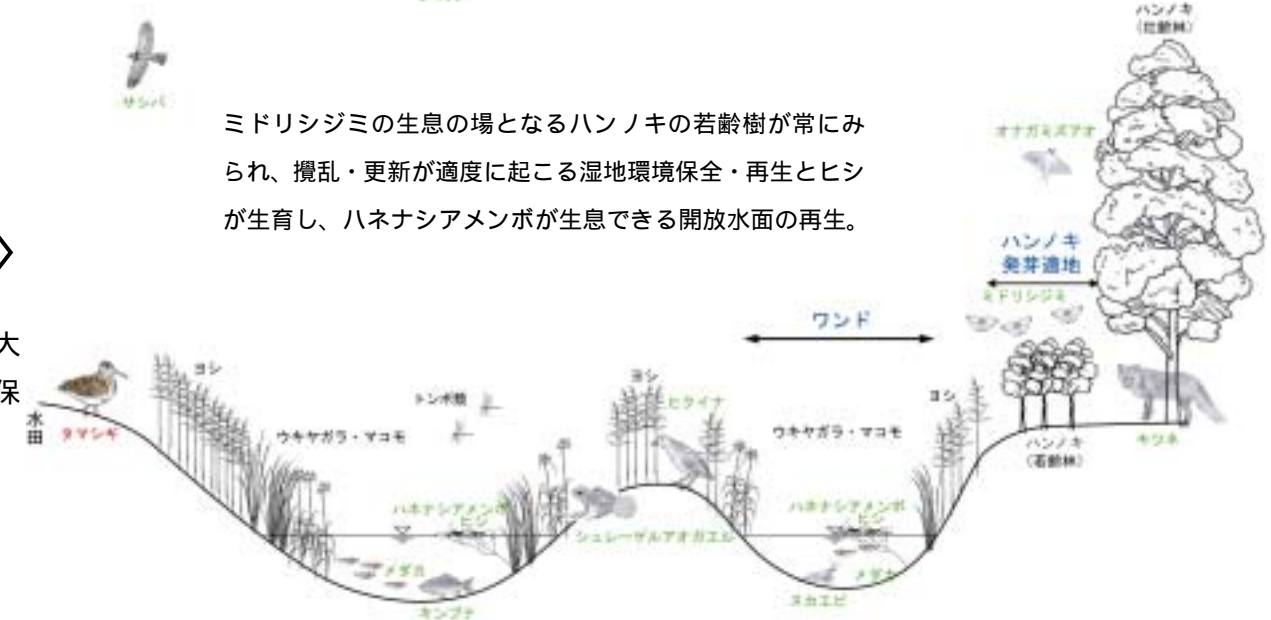
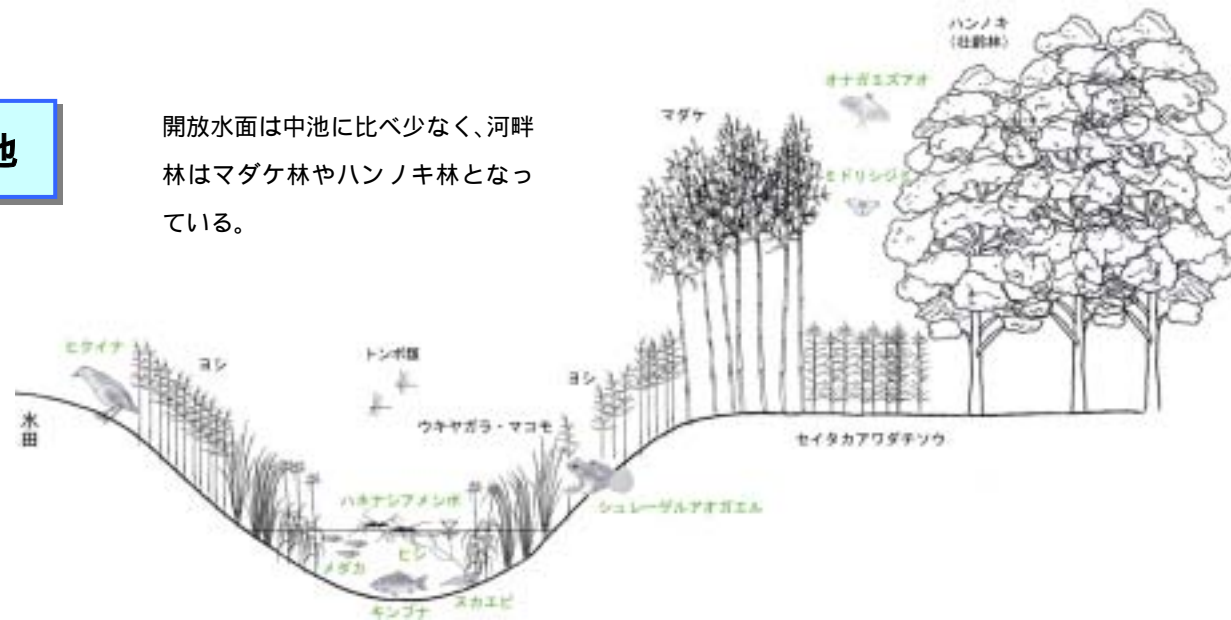
開放水面は維持され、周辺にはムクノキ・エノキ林を中心とした樹林が発達している。



・開放水面の拡大
 ・河畔林の保全

下池

開放水面は中池に比べ少なく、河畔林はマダケ林やハンノキ林となっている。



・開放水面の拡大
 ・ハンノキ林の保全・管理